

住民が安心して住み続けられるための地域医療を！

# 地域医療を守る共同行動 みやぎ連絡会 News

2020.12.25.Fri No.17  
(注/組織内資料扱)

発行/地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会事務局  
〒983-0047 仙台市宮城野区銀杏町39-18 (民医労内)  
TEL 022-782-0633/FAX 022-782-0634

仙台市医師会会報より一部転載

仙台市医師会報  
会長からのメッセージ

## 第3波と3病院統合・再編について

宮城県立がんセンター、東北労災病院、仙台赤十字病院の3病院が統合・再編をめざして協議しているとの話が世間を騒がせています。基幹病院の移転は地域住民に多大な影響を与え、地域の医療バランスを崩壊させかねません。青葉ブロックと太白ブロックからそれぞれ東北労災病院と仙台赤十字病院の現地存続を望む要望書をお預かりしたところです。

早速、市に伝え、11月25日に青葉ブロック副代表幹事と太白ブロック副代表幹事に同席いただき、両ブロックからの要望書を郡和子市長に手渡しました(写真)。

その後、市長と面談の時間をいただき、3病院統合・再編が仙台市にとって非常に重大な問題となることを説明し、県主導で一気に進みかねない現状に危機感を持っていることを伝えました。

翌日行われた村井嘉浩知事と郡市長との対談は平行線に終始したようですが、市長の発言の中にわたしたちの要望がしっかり盛り込まれていることが確認できました。

地域の重要な医療拠点である3病院が、それぞれの地盤を離れる覚悟で統合・再編を考えざるを得ないこと自体が、日本の公立・公的病院経営の困難さを象徴しているように思います。なんとか良い方向に話が向かうよう、仙台市医師会も行動していきます。われわれの使命は「仙台市民の命と健康を守る」ことにほかなりません。

\*市医師会会報より一部加工しています。



## 地域医療を守る共同行動みやぎ連絡会 総会&記念講演

2021年1月8日(金) 18:00開場

総会 18:30-18:50/記念講演 19:00-20:00

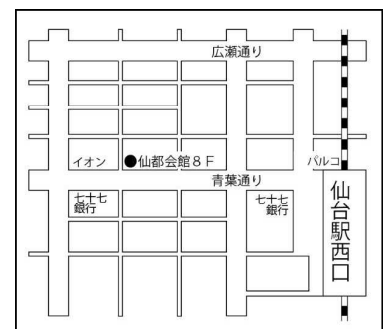
仙都会館 8F会議室 【申し込み不要・参加無料】

〈記念講演〉～医療費抑制・ベット削減計画～

「地域医療構想から考える3病院移転・統合問題」(仮)

～県立がんセンター・東北労災病院・仙台赤十字病院～

金田 基氏 (宮城県議会議員)



(注 / 一部報道転載の為、組織内資料扱)

### 県立がんセンター 現地存続求め市長に要望書 名取・増田西地区

2020年12月23日 河北新報

県立がんセンター（名取市）と東北労災病院（仙台市青葉区）、仙台赤十字病院（太白区）の連携・統合構想を巡り、名取市増田西地区町内会連合会が22日、がんセンターの現地存続を求める要望書を山田司郎市長に提出した。

要望書はがんセンターについて「名取の地に根差し、県南有数の基幹病院としてなくてはならない病院であり、地域住民の心のよりどころとなっている」と指摘。

連合会の佐藤彰一会長と15町内会長が連名で、現地存・続を訴えた。

山田市長は「がんセンターは地域医療に欠かせない存在だ。思いをしっかりと受け止め、力を合わせて頑張りたい」と述べた。



### ■ 県知事会見 ■ (2020年12月21日) 県内3病院の連携・統合について

◆Q／確認したいなものだが、先週もお話がちょっとあったが、3病院の統合・連携問題で伺う。先週のお話だと、もう期限も切られるというお考えだったが、今年も終わるが今年中は結論は出せないということか。

■村井知事／そうですね。県議会からも慎重にという声がありましたので、非常に慎重によく打合せをさせていただくことにしたということでもあります。結果的には、当然調整中ですので細かいことは何も出せないんですけども、皆さんが納得できるような形にできるだけ収斂できるように、努力をしまいたいと思っています。まだ本当に、連携するのか統合するのかということすら、まだ決まっておられません。

◆Q／いつを目途にお答えいただくというのももちろん分からない状況か。

■村井知事／まだ分からないですね。はい。まず、いろいろな材料を出し合って、どう調理するかということは今話し合っているような状況で、どういう料理にするかもまだ何も決まってないという感じですね。

早いもので本年も残すところ、あとわずかとなりました。  
皆様には1年間大変お世話になり、心より感謝しております。  
それでは良いお年をお迎えください。

